

## 働き方改革 ～魅力ある業界へ～

2020年～いよいよオリンピックイヤーとなりました。マラソン競技が開催されることになった北海道“オリンピック”という“大きな渦”に巻き込まれることになりました。無事に成功することをお祈りしたいと思っています。

さて、2019年4月より働き方改革関連法が施行され、大手企業は法令適用となり項目のひとつとして時間外労働に上限規制が設けられましたが、2020年4月より中小企業も適用となります。

○時間外労働時間の上限

- ・年間720時間以内
- ・月100時間未満
- ・複数月平均80時間以内(休日労働含む)

建設コンサルタント業界では工期が集中する年度末に、成果品作成に向け時間外労働時間が増えることが常態化していることも多いのではないのでしょうか。年間720時間は、月平均60時間なので年度初めや夏場に時間外労働を抑えることやNO残業デー等の活動で抑制することは可能です。しかし、月平均80時間を守ることは、これまでの労働環境を考えるとハードルが高くなりそうです。

では、どのように法令を守るのかということになりますが、一般的には、業務効率化だとかICT、AIの活用推進によって効率化を図るということになるでしょう。しかし、実際にはなかなか効率化が図れないのが気になります。建設コンサルタントで働いている方々は、非常に優秀な人材である一方で、職人気質の方も多く、自分が納得(自己満足)するまで仕事をしてしまいがちです。その成果が万人受けするかというとそうでもなく、自己反省も含めると

飯野将徳(いいの まさのり)

技術士(建設/上下水道/総合技術監理部門)

公益社団法人

日本技術士会北海道本部 幹事

事業委員会 委員長

倫理委員会 委員



無用な作業もあった様に思います。

まず、働き方改革の第一歩は、時間外労働を1分でも減らし、趣味に費やす時間や家族との時間を増やし、残業や休日出勤はしないという意識を持つことから始めましょう(日30分削減で月10時間削減、日1時間削減だと月20時間も削減)。

また、業務効率化の向けICT、AI等は今後どんどん進化します。しかし、それを使いこなすのは人です。人は「五感」を持っています。視覚、聴覚、嗅覚、触覚、味覚の「五感」のどこかで違和感を感じとったときには「これは何?」「どういうこと?」と疑問を持つことです。五感だから気のせいだというのではなく、むしろ頭で考える前に「五感」で拾った違和感が大切です。

これからは、上から目線の“仕事は覚える”ではなく「人」として「技術者」として、この感覚を若手へ積極的に技術継承し、ICT、AI技術等も活用し共に業務効率化を進め、働き方改革へ繋げることが何よりも重要です。熟練技術者から若手技術者へ技術が引き継がれ発展していく魅力ある業界となるために、我々が意識を変え若者を呼び込み活気ある業界にする必要があります。

今はものすごく時代の流れが速く、“大きな渦”に巻き込まれ、ハッキリとは先が見通せない時代です。そうした中で正しく自分を持ちながら進んでいくには、「五感」を整え“第六感をはたらく技術士”を育てていきたいものです。

皆さん、まずは意識改革から始めましょう!“働き方改革へ業界がOneTeamとなり、意識改革を進め魅力ある業界を目指しましょう!”